

# 支笏湖ビジターセンター便り

2021年（令和3年）2月号 Vol.134



冬にいつそう映える！！

## 生き物との出会い シマエナガ

先日、支笏湖ビジターセンター裏側の木にシマエナガ（エナガ科）の20羽ほどの群れが訪れました。シマエナガは頭が真っ白で「雪の妖精」と愛称がついている人気の鳥です。小さな嘴で枝先のエサを一心に探るしぐさ、その枝先でクルリクルリと曲芸のように動く様子を見ればほとんどの人がシマエナガのとりこになってしまうのでは！日本では、北海道にしか生息していないシマエナガですが、とある写真集の出版がきっかけで人気が全国に広がったようです。

シマエナガの観察をきっかけに、「何を食べているんだろう」「この木はなんだろう」「近くにいる別の鳥もかわいいな」など、周囲のものに興味を持つと、自然の中で過ごすことがさらに楽しくなりますよ！

雪があるからこそ分かる！！

## 生き物の気配（痕跡）発見 エゾモモンガ



エゾモモンガ（リス科）は、頭と胴の長さが15～16cm、尾の長さが10～12cmの小さくて、可愛い大きな目がポイントの動物です。前足と後ろ足の間に飛膜があるので木々の間を「ヒョイッ」とひとつ飛びすることが出来ます。そんな姿を見たいと思っても夜行性のためほとんどお目にかかることは出来ません。だからこそエゾモモンガの痕跡（フンなど）を見つけられたら、すぐそばの木の洞にいるかも！と嬉しくなります。写真のフン（長さ5～6mm）はビジターセンター周辺で見つけました。

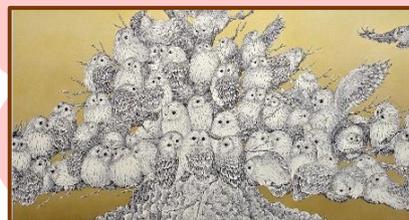
ボールペン画でも生き物と  
ふれあおう！

浩而魅諭(ひろじみゆ)展

Masseマツス(塊)

2月28日(日)15時まで

ビジターセンター  
多目的室展示



札幌在住の画家「浩而魅諭」さんの作品展を開催しています。ひろじさんの描く生き物たちは、サンショウウオ、フクロウ、クマ、カラスアゲハ、テントウムシなど多種多様です。絵からは「命の美しさ、輝かしさ、力強さ」が感じられます。生き生きと描かれた生き物たちが絵の中から飛び出してきそうです。ぜひ見てください！



# 「真っ暗 ひょうとう 氷濤まつり」

開催されました  
2月11日



今年で43回目を迎えた「2021千歳・支笏湖氷濤まつり」は新型コロナウイルス感染防止対策を万全にしたうえで開催されました。密を防ぐために滑り台・中に入れる氷像・イベントを催すステージ等が廃止されましたが、代わりに高さ13m級の氷像を例年より3基多い5基制作し、迫力あるタワー氷像群がメインの会場に仕上がりました。

そんな中、夏から行っている行事「真っ暗支笏湖」\*の一環として、夜の氷濤まつり会場を「真っ暗」にする演出が行われました。開始前、来場者からは「ライトダウンの演出なんてどういこと？」などの声が聞こえていましたが、ライトが段階的に消されていくと、その度会場の印象が変わることにびっくり。最後に暗闇に浮かび上がったブルーの巨大氷像を見たとき、来場者からため息まじりの歓声が上がりました。実は真っ暗にしたのはタワーの周囲。ブルーに輝いた巨大氷像だけが目の前にそびえ、それはそれは美しいものでした。

青く浮かび上がる氷像を全員で見ながら感染症の治療に最前線で携わる医療従事者への感謝の気持ちを込め、感染症の一日も早い終息を願い静かに氷像を眺めました。

\*「真っ暗支笏湖」は主催：環境省支笏洞爺国立公園管理事務所、共催：自然公園財団支笏湖支部(支笏湖ビジターセンター管理者)、協力：支笏湖まつり実行委員会の行事です。

支笏洞爺国立公園管理事務所  
アクティブ・レンジャー  
(自然保護官補佐)  
當山真貴子

展望台からの眺め

アクティブ・レンジャー・レンジャー日記

現在、支笏湖では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し(売店・花火・滑り台等を中止)、「氷の野外美術館」というテーマで「千歳・支笏湖氷濤まつり」が開催されています。入場して最初に目に付くのは・・・巨大な5本のタワー！例年は2本でしたが、やはり複数あると迫力があり、ダイナミックです(°ω°)他にも、屋根を無くし、森や林の中を登って行くイメージで作られた展望台からの眺めが新しい景色で新鮮でした♪

また、所々に三密を回避するための工夫が施されており、製作スタッフの皆さんのアイデアが結集された内容であるということも感じました。

## 展示物の紹介

### ビジターへ

おいでよ！



## 支笏湖温泉の気象

支笏湖温泉の  
気温・降水量・日照時間  
～気象庁アメダスによる  
平年値と今年の観測値～

気温(°C)

	平年値	今年
1月上旬	-4.2	-8.3
中旬	-5	-5.3
下旬	-5.5	-3.6
2月上旬	-5.3	-6

日照時間(h)

	平年値	今年
1月上旬	27	42.5
中旬	27.8	23.7
下旬	32.3	27.5
2月上旬	34.5	35.2

降水量(mm)

	平年値	今年
1月上旬	36	2.5
中旬	28.1	58.5
下旬	36.4	54.5
2月上旬	19.7	5

昨年12月下旬の冷え込みは1月も続き、1月の平均気温は平年値より0.9°C低い-5.7°C。2月も日最低気温が-10°C以下になる日が1～5日まで続くなど1月上旬の平均気温は平年値より0.7°C低い-6度でした。2月3日の日平均気温-11.6°Cは、同月としては観測開始以来低い方から7番目でした。

降雪は1月に入って一気に増え同月の累積積雪量は114cmに達しました。ただし12月が少なかったため1、2月合わせて142cmと、極端に少なかった昨年を除くと過去6年間の平均と大きく変わりません。

ビジターセンター館内のラウンジ横でひとときわ目立つ大型グラフィック。支笏湖の名所「苔の洞門」の実物大パネル(高さ約9m)です。

名所とは言ったものの、残念ながら現在は入口崩落による閉鎖で見えることはできません。このパネルで高さを実感したら、同じく館内のVRゴーグルで内部の雰囲気を楽しむのがおすすめです。洞門の成り立ちやコケの紹介の展示もあるので併せてご覧くださいね。

ちなみに、冬でもコケは観察できます。傾いた木の幹や倒木をつぶさに探してみましょ。真っ白な雪景色の中、青々としたコケを見つけると心がほっこりしますよ。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行

〒066-0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地

Tel. 0123-25-2404

HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】※入館無料

4月から11月 午前9時から午後5時30分まで

12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで

(火曜日休館)

年末年始休館日 12月29日から1月3日まで